

2023年2月7日

各 位

会 社 名 フュージョン株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木 卓也
コード番号：3977 札幌アンビシャス
問合せ先 専務取締役 安田 真
(TEL. 011-271-8055)

凸版印刷株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、凸版印刷株式会社（以下「凸版印刷」といいます。）と資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）を行うことについて決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本資本業務提携の背景と目的

(1) 本資本業務提携の背景

当社は、「マーケティングの力で、企業をもっと顧客の近くへ」をミッションとし、「CRM支援分野」「サービス運営支援分野」「教育支援分野」から成る総合マーケティング支援を事業としております。また、「データ・テクノロジー・クリエイティブを融合し意味のある顧客体験を生み出すマーケティングカンパニー」の実現をビジョンとして掲げ事業活動を推進しております。

当社の事業内容について徐々に市場での認知が進み、大手企業から特にCRM支援分野におけるマーケティング政策コンサルティング等の上流の工程や、その後工程としてのダイレクトメール制作の強みがトータルに評価され、著名なアワード受賞等を重ねているところであります。

凸版印刷は、「印刷テクノロジー」をベースに、「情報コミュニケーション事業分野」「生活・産業事業分野」「エレクトロニクス事業分野」の3事業分野にわたる幅広い事業活動を展開しており、グローバルな社会課題を解決するリーディングカンパニーであります。

凸版印刷は事業変革を続けており、印刷はもちろん、近年はデジタルマーケティング領域でもトップ企業であります。

(2) 本資本業務提携の目的

両社はかねてより良好な協業関係にあり、当社から凸版印刷に対してコンサルティングやアナリティクスの領域で個別サービスを提供してきたところであります。また、昨年来、凸版印刷デジタルマーケティングセンターおよびエンゲージメントセンターの活性化について議論する中で、それらをテーマとして両社の強みを掛け合わせることは、互いのクライアント企業への提供価値の向上や、両社

の事業拡大に繋がるという見解で一致したため、今般の業務提携（以下「本業務提携」といいます。）を意思決定するに至ったものであります。

さらに、両社は本業務提携の効果を最大化するために、資本の提携についても議論を重ねていたところ、当社創業家から、本業務提携の実効性を高め当社の企業価値の向上に資するために創業家の保有する当社株式の一部を凸版印刷に譲渡したい旨の申し出があり、当社としてもその意向に賛同し、資本提携（以下「本資本提携」といいます。）についても決定するに至ったものであります。

2. 本資本業務提携の内容

（1）本業務提携の内容

両社間で検討中の具体的な本業務提携の内容については以下のとおりです。

- ①凸版印刷デジタルマーケティングセンターとの協業体制の構築
- ②CRM領域における事業戦略の共同設計
- ③凸版印刷エンゲージメントセンターの事業運営支援
- ④凸版印刷エンゲージメントセンターのサービス強化支援
- ⑤凸版印刷エンゲージメントセンターの人財教育支援

（2）本資本提携の内容

本資本提携にあたり、①当社の代表取締役会長かつ主要株主であり筆頭株主（2022年8月31日時点）である花井秀勝氏（所有株式数：171,800株、所有割合：23.86%。以下「秀勝氏」といいます。）、②当社の主要株主であり第6位株主（2022年8月31日時点）である花井智子氏（所有株式数：40,000株、所有割合：5.56%。以下「智子氏」といい、秀勝氏と智子氏を総称して「本売主」といいます。）が、凸版印刷との間で、本日付で株式譲渡契約を締結し、本売主が保有する当社普通株式合計71,900株（総議決権数に対する議決権比率9.99%）を、同契約に基づき2月13日付で凸版印刷に対して市場外の相対取引により譲渡する旨を合意したことについて、当社は本日認識いたしましたので、お知らせいたします。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	凸版印刷株式会社		
(2) 所在地	(本店) 東京都台東区台東1丁目5番1号 (本社事務所) 東京都文京区水道1-3-3		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鷹 秀晴		
(4) 事業内容	トッパンは、「印刷テクノロジー」をベースに「情報コミュニケーション事業分野」、「生活・産業事業分野」および「エレクトロニクス事業分野」の3分野にわたり幅広い事業活動を展開しております。		
(5) 資本金	104,986百万円		
(6) 設立年月日	1908年6月4日		
(7) 大株主及び持株比率 (上位5名)	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		16.16%
	株式会社日本カストディ銀行(信託口)		5.35%
	日本生命保険相互会社		4.55%
	東洋インキSCホールディングス株式会社		2.88%
	第一生命保険株式会社		2.78%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	コンサルティング、アナリティクス案件の受注。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	1,486,007百万円	1,466,935百万円	1,547,533百万円
営業利益	66,413百万円	58,789百万円	73,505百万円
経常利益	66,719百万円	58,053百万円	76,318百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	87,047百万円	81,997百万円	123,182百万円
純資産	1,310,232百万円	1,453,164百万円	1,437,207百万円
総資産	2,143,454百万円	2,363,503百万円	2,288,188百万円
1株当たり当期純利益	261.06円	237.16円	365.21円
1株当たり純資産	3,416.48円	3,870.14円	4,089.58円
1株当たり配当金	60.00円	40.00円	44.00円

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2023年2月7日
(2) 契約締結日	2023年2月7日

5. 今後の見通し

現時点における当社の2023年2月期業績に与える影響は軽微であります。本資本業務提携の効果が具体化する等、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上